

同致ニ来タラサル以上ハ断レテ総聯合組
織ノ交渉ヲ爲サス
以上

右決議ス

大正十一年十月二日
日本労働総同盟
第十一年大會

ヲ朗読シタルニ對シ京都聯合會辻井氏
之助及鑛山側加藤勘十岡東側高田
和一等及總同盟側ヲ允難シタル後悉シ
トモ該聯合ハ所謂組合同盟ニ非ラサル
ナル聯合ニ過キサルモノナレハ隨テ主義主張
ヲ異ニセル幾多雜然タル組合ヲ包攝スルモ
ノナリ之カタメ他ヲ排擠スルヲ當ラズ宜シク
友愛ノ精神ヲ以テ其自ノ戰線ニ手ヲ執ツテ
立ツヘク自重ノ態度ヲ要望スル旨ヲ述ヘテ
前記塚本ノ說明ニ酬ユル所アリタルニ決

義女ヲ可決シ度ニ労働者新聞號外ヲ以テ
一般労働會議ニ聲明スヘク議長長指名ニヨ
リ岡東側小栗守一、箱条守作、根本光
明、川田憲次、岡野実、岡西側塚本重
蔭、安藤嘉右エ門、青柿善一郎、辻井氏之
助、安藤国松、豊岡利吉、鑛山側阪口芳
治、西川虎吉、計十三名ノ委員ヲ擧ケ右
決議文ヲ骨子トスル聲明書ノ起草ヲ附托
シ爾後三日ノ會議ニ之カ發表ヲ爲スコト、ニ午
後五時五十分散會セリ
右及津(通)報候也